

科目名	ミクロ経済学 I	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Microeconomics I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	のぐち ひでゆき	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	野口 秀行	修得単位	2単位
授業のテーマ	近年注目されている行動経済学を基礎に据えて現代経済の構造を解き明かします。		
到達目標	行動経済学の基礎を学びます。		
授業概要	ミクロ経済学 I では、行動経済学を重点的に学習します。		
授業計画			
第1回	マクロ経済学とミクロ経済学の違いとは		
第2回	消費者理論：限界効用、無差別曲線、選択と予算制約、所得の変化、価格の変化		
第3回	消費者理論：代替効果と所得効果、需要曲線と需要の価格弾力性		
第4回	消費者理論：無差別曲線の導出。		
第5回	生産者理論：生産関数、費用最小化の条件		
第6回	生産者理論：総費用、限界費用と利潤最大化条件		
第7回	生産者理論：損益分岐点と操業停止点、供給曲線、		
第8回	生産者理論：完全競争市場の利潤最大化条件の導出		
第9回	部分均衡：完全競争市場、市場均衡の安定性、余剰分析		
第10回	一般均衡：パレート効率性		
第11回	一般均衡：厚生経済学の基本定理。生産者を含めた一般均衡		
第12回	不完全市場：独占、独占の利潤最大化条件の導出		
第13回	不完全市場：寡占、複占、独占的競争		
第14回	市場の失敗：外部性、費用逓減産業、公共財、不確実性		
第15回	ゲーム理論と貿易の理論：ナッシュ均衡、比較生産費説		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと		
履修条件 受講のルール	なし		
テキスト	プリント配布		
参考文献・資料	追って連絡します		
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。		
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日		
成績評価基準	平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 平成27年度(2015)以前に入学した学生 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)		
学生への メッセージ	日本経済についての好奇心を持ってほしいと思います。		